

【ファッションデザイン科 3年】

	カリキュラム	コマ数	読み替え	コマ数	担当
一般科目	コミュニケーション活動Ⅲ	30	コミュニケーション活動Ⅲ	30	カルフォ
専門科目	パターンメイキングⅢ	45	アパレルCADⅡ	45	戸澤
	アパレルCADⅡ	15			
	オリジナルブランド サンプル制作	30	オリジナルブランド サンプル制作	45	カルフォ
	オリジナルブランド 商品生産	45	オリジナルブランド 商品生産	45	長野・カルフォ
	オリジナルブランド 運営	30	オリジナルブランド 運営	25	菅・松本・寺田
			オリジナルブランド VMD	15	繁田
特別科目	キャリアプランⅡ	15	キャリアプランⅢ	10	太田
	卒業制作 デザイン	30	卒業制作 デザイン	30	カルフォ（時田・戸村・菅）
	卒業制作 造形	180	卒業制作 造形	180	戸村（時田・カルフォ・菅）
	卒業制作 演出	45	卒業制作 演出	30	菅・辻本・岩本（戸村）
			ファッショントレンドⅢ	10	菅・相川
	卒業制作 ポートフォリオ	15	卒業制作 ポートフォリオ	15	カルフォ
	共通選択科目	15	共通選択科目	15	担当講師
年間履修時間数		495		495	
年間授業日数		180		180	

シラバス(授業概要)			年 度		2025年度
			科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
コミュニケーション活動Ⅲ			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	カルフォ 香奈
授業の目的・目標					
クラスや学科でのグループ活動をとおして、社会性を身に着ける。ファッションに役立つ企画展・展示会などの鑑賞で視野を広げ、リクリエーションを通してコミュニケーションの大切さを学ぶ。					
授業の概要					
各種プログラムを通して、感性の向上とコミュニケーションの重要性を理解し、相手に考えや意思を伝え合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
参加意欲や姿勢・レポートなど総合的に評価する。					平常点 50% レポート 50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			2		
2. "			2		
3. "			2		
4. "			2		
5. 学校行事・学科活動			2		
6. 芸術鑑賞			2		
7. "			2		
8. 健康診断			2		
9. レクリエーション			2		
10. "			2		
11. "			2		
12. "			2		
13. ファッション校外研修			2		
14. "			2		
15. "			2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
アパレルCAD II			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	90	3	戸澤 智也子
授業の目的・目標					
アパレル業界で就職するにあたっての、CADの重要性の確認。 手作業で行うパターン作成をスムーズに又正確にCAD化できるようになる。 CADを通して、仲間との協力、自分自身の自信をつける。					
授業の概要					
アパレル業界で就職するにあたっての、CADの重要性の確認。 手で行うパターン作成をCAD化する。					
成績評価の方法					
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。					授業態度 50%
					課題 50%
使用テキスト・教材					
電卓、定規					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	グレーディング練習(スカート・ブラウス)		6		
2.	グレーディング(パンツ)		4		
3.	ジャケットの工業パターン表・裏・芯		10		
4.	マーキングについて		4		
5.	ジャケットの製図(身頃1)		8		
6.	ジャケットの製図(テーラードカラー)		8		
7.	ジャケットの製図(2枚袖)		8		
8.	応用袖(ラグラン・エポーレット・着物)		6		
9.	応用袖(ドルマン・キャップ・フレンチ)		6		
10.	応用(衿ハイネック、身頃ペブラム)		6		
11.	応用(衿ハイネック、身頃ペブラム)		6		
12.	アイテム自由CADデータ作成		18		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			アパレルCAD I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年 度		2025年度
			科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
オリジナルブランド サンプル制作			講義・ 演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	90	2	カルフォ香奈
授業の目的・目標					
これまで学んだ服飾造形基礎を、状況にあわせて応用、展開し、発展する力が身につく。 サンプル作成しながらシルエットやディテール、テキスタイルの見直しをしてより良い作品にしてい くための柔軟性を養う。 チームでのプロジェクト推進力やチームワーク力、判断力を養う。					
授業の概要					
BD企画デザイン・パターンからのつながりで、展示会にむけてサンプルを制作していく。生地にあわ せて細かいディテールや始末などを考慮し、商品として売れるレベルに仕上げていく。					
成績評価の方法					
課題提出（パターンの完成度） 学習意欲（チームワークのあり方、授業に取り組む姿勢）					課 題 60% 平 常 点 40%
使用テキスト・教材					
原型パターン（メンズ・レディース）、配布資料、文化ファッション大系 全テキスト					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. パターントワール検証、始末、生地付属確認			4		
2. 生地裁断、芯はり			8		
3. サンプル制作			54		
4. 小物制作			10		
5. サンプル仕上げ、最終プレス			4		
6. アイテム表作り、品質確認、プレゼン準備			6		
7. サンプル展示会準備			4		
8.					
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			BD企画デザイン、サンプル、販売		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年 度		2025年度
			科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
オリジナルブランド 商品生産			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	90	3	長野 景惟 カルフォ香奈(検品)
授業の目的・目標					
効率的でスピード感をもったアパレル生産のスキルの習得 基礎から応用までの総合的な造形技術を一段と高めることができる					
授業の概要					
サンプリング時の縫製工程を基に、量産のための明確かつ効率的な工程作りを学ぶ 作業フォローに沿った生産を行い、美しく安定した品質の製品に仕上げる 造形技術を習得する。製品は検品の上、出荷する。					
成績評価の方法					
1. 提出課題（提出率・課題の完成度） 2. 学習意欲（授業に取り組む姿勢の有無）					提出課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系テキスト・造形分野全テキスト・縫製道具一式・ブランドタグ					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. サンプル検証、生産数等調整			2		
2. パターン修正、グレーディング			6		
3. 裁断・芯貼り等準備			12		
4. 商品生産			60		
5. 最終プレス、①検品、検針			5		
6. ②最終検品			5		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。 19:3822:38			BDサンプル、BD運営		

[illegible]

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
オリジナルブランド 運営B			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	26	1	松本 眞由美
授業の目的・目標					
ブランド企画デザイン生産において必要な計数管理を理解し、商品企画・販促企画と連動した実習店舗の売上目標の設定から売上利益の把握、売上分析ができる					
授業の概要					
ブランド企画デザイン生産において必要な売上・仕入・原価計算・在庫・利益等に関する基本知識を、実習店舗の企画・運営・終了後の分析に関する計算演習を通し実践的に理解する					
成績評価の方法					
期末試験、学習意欲（授業に取り組む姿勢）で評価する				期末試験	90%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
オリジナル					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 計数管理の意義・売上高構成要素		2			
2. 損益計算書の仕組みと事例		2			
3. 比率の計算（売上構成比他）		2			
4. 仕入在庫と売上原価、製造原価		2			
5. 利益の仕組み（値入と粗利）		2			
6. 値引きと売上利益・粗利ミックス		2			
7. 実習店舗 製造原価と売価設定		2			
8. 〃（計算演習）		2			
9. 損益分岐点と目標利益達成点		2			
10. 〃（実習店舗経費・目標利益の確認）		2			
11. 実習店舗売上集計（ブランド別含む）		2			
12. 〃		2			
13. 期末試験		2			
			(学校行事との関係で順序変更の場合があります)		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			オリジナルブランドⅢ運営A		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
オリジナルブランド VMD			実習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	30	1	繁田 和美		
授業の目的・目標							
売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出計画と店頭プレゼンテーションが出来る。							
授業の概要							
店頭演出計画の立案や店舗運営時の店内業務に必要な、VMDの基礎知識を学び、実習店舗での売場づくりにおいて実践する。 自ら企画立案、計画に基づく売場を作成し、リアルな販売や売上を通してVMDを実店舗に繋げる力を身につける。							
成績評価の方法							
課題（提出の有無、提出された課題の完成度）					課 題	40%	
平常点（主体的な授業参加度）					平 常 点	40%	
学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢）					学習意欲	20%	
使用テキスト・教材							
・資料等配布							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. VMDの概要 VMDの定義			2				
2. 陳列技術（IP）の基礎、定数定量			2				
3. 演出技術（VP・PP）の基礎			2				
4. 店舗リサーチ（フィールドワーク）			2				
5. ディスプレイプランニング／実習			2				
6. プランニング			2				
7. 学内プレゼンテーション			2				
8. 制作			2				
9. 制作			2				
10. シミュレーション①			2				
11. 準備&製作／実習①			2				
12. シミュレーション②			2				
13. 準備&製作／実習②			2				
14. 現場設営①			2				
15. 現場設営②			2				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キャリアプランⅢ			講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	20	1	太田 稔子		
授業の目的・目標							
①社会人としてのコミュニケーション能力の向上 ②就職に対する疑問点と不安点の解消する力を養う ③ペア・グループワークを通し社会人意識を学ぶ ④実践練習を通し自信をつけさせる							
授業の概要							
自分自身を知ることでも個々の就職に対する意識を高める。 アクティブラーニングを主とする授業内容で、個人面接及び集団面接の実践力を養う。 コミュニケーション能力強化を重視し、グループワークを通し社会人意識を自然に身につけ、社会に出る準備をする。							
成績評価の方法							
授業態度・課題提出・出席を総合的に判断する。					課題	30%	
					平常点	40%	
					学習意欲	30%	
使用テキスト・教材							
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等資料							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	キクワーク（聴く・聞く・訊く） 伝えるワーク（図形あて）		2				
2.	ブレインストーミング 価値交流ワーク *相手を受容する		2				
3.	面接の種類と面接官の評価ポイント ケーススタディ		2				
4.	コンセンサスゲーム グループワークの向き合い方		2				
5.	自己紹介ポイントワーク *プレゼンテーション基本		2				
6.	グループ面接練習 役割分担 評価シート作成		2				
7.	グループワーク ツールを使った発表とフィードバック		2				
8.	〃 *見せ方と伝え方の工夫とコツ		2				
9.	社会人意識 ケーススタディ① フィードバック		2				
10.	社会人意識 ケーススタディ② まとめとエール		2				
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
卒業制作 デザイン			実習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	60	2	カルフォ香奈		
授業の目的・目標							
卒業制作で作成するシルエットデザイン、表現したい事を服に落とし込み、デザインの発展を色々と試すことができる。学生だから出来る事、既成概念に囚われず、自由に柔軟な発想をして、チャレンジ精神をもつことができる。							
授業の概要							
一対一の対話から始め、学生には自発的に手を動かして、卒制を進める。失敗を恐れず、過程を大切に、自分がどういった制作をしたいのか、したのかを記録しながら進めていく。審査会で得られる様々な人からの意見も取り入れて、ブラッシュアップを図りより良い作品になる様にする。							
成績評価の方法							
・課題提出（作品完成度、発想の独自性） ・学習意欲					課題	60%	
					平常点	40%	
使用テキスト・教材							
デザイン画ベース用ひな形、原型パターン（メンズ・レディース）、スケッチブック							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. シラバス説明、全体テーマ決め			4				
2. ブレインストーミング、リサーチ			4				
3. ムードボード、リサーチ①			4				
4. ムードボード、生地リサーチ②			4				
5. 手を動かしてリサーチ、ラフデザイン①			4				
6. 手を動かしてリサーチ、ラフデザイン②			4				
7. 1対1対話 デザイン展開			4				
8. 生地・ディテールなどの試作①			4				
9. 生地・ディテールなどの発展②			4				
10. 1対1対話 デザイン発展			4				
11. デザイン画にしていく			4				
12. 審査会準備			4				
13. デザイン審査①			4				
14. デザイン審査②			4				
15. まとめ			4				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。				CW造形、CWポートフォリオ			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
卒業制作 造形			実習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	360	11	戸村 寿恵子
授業の目的・目標					
総合的技術と応用力をいかし、自分なりの出来る事を最大限に活かし、卒業後の就職に、少なくとも、影響を与えることと思われる。					
授業の概要					
各自の感覚、縫製技術力を集結させ、素材の特徴を生かした、オリジナリティーのある製作をする。その集大成として「デザイン・ア・ラ・モード2026」にて発表を行う。					
成績評価の方法					
マテリアルの使い方、縫製技術力、授業態度、作品提出。					課題 60%
					学習意欲 40%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系・プリント配布					
授業内容・授業計画					
1. デザイン画ディティール確認	時間数	5	16. 最終チェック 直し	時間数	10
2. 素材の縫い方説明	10		17. 付属品製作実習（ヘアー・靴の装飾）		10
3. 実習製図（ドレーピング含む）実習	40		18. トータルチェック		5
4. トワル組立（シーチングに移す）			19. 仕上げ		5
5. 仮縫い補正	20				
6. パターン直し・.組立・再度仮縫い	16				
7. 補正. 工業用パターン製作	14				
8. パターンチェック完成	5				
9. 実物裁断実習	10				
10. 製作実習	90				
11. 中間チェック	5				
12. 中間ボディー着装チェック	5				
13. バランス直し	10				
14. 製作実習	95				
15. 製作チェック	5				
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			CWデザイン、CW演出、CWポートフォリオ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
卒業制作 演出				実習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	60	2	菅麻紀・辻本真友み 岩本ひとみ		
授業の目的・目標							
卒業制作の作品衣装に演出を添えて、ファッションショーを構成し実施する。自身のクリエイションをコンセプトualに魅せる手法を追求し、ワークを通じてコミュニケーション力を強化し実践する。							
授業の概要							
卒業制作展 デザイン ア・ラ・モードの実施に向けて、3年間の知識技術を結集し、企画からデザイン・制作・演出の全てを他者と協働し実現実行する。							
成績評価の方法							
1. 平常点（主体的な授業参加度） 2. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） 3. 課題（提出率と提出された課題の完成度）						平常点	50%
						学習意欲	40%
						課題	10%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 演出検討			20				
2. //							
3. 企画構成または台本作成			8				
4. //							
5. モデルウォーキングレッスン			8				
6. //							
7. ヘアメイクデザイン・練習			4				
8. //							
9. ショー練習			10				
10. リハーサル・本番			10				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。				卒業制作			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ファッショントレンドⅢ			講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	20	1	菅 麻紀 相川 克彦		
授業の目的・目標							
パラダイムシフトの中におけるファッションの変化を理解しながら、新時代の業界人の役割を理解する。							
授業の概要							
世界のファッションビジネス&トレンドの重要なニュースを追いながら、業界の近未来を展望する。							
成績評価の方法							
課題提出および授業の出席率を総合的に評価						課題	60%
						学習意欲	40%
使用テキスト・教材							
ファッション週刊誌「WWDJAPAN」「WWDJAPAN Digital」(INFASパブリケーションズ)							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. WWD JAPAN紙面よりトピック解説			2				
2. "			2				
3. "			2				
4. "			2				
5. "			2				
6. "			2				
7. "			2				
8. "			2				
9. "			2				
10. "			2				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
卒業制作 ポートフォリオ□				講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	30	1	カルフォ 香奈		
授業の目的・目標							
卒業制作の作品とプロセス（アイディアからどのように発展させたか、オリジナルスケッチやリサーチ）を人に伝わるように1冊のポートフォリオで表現できる。							
授業の概要							
卒業制作を始める頃から意識的にリサーチやスケッチをとっておき、途中のプロセスなども写真を撮ったりしておく。最終的に、作品の写真を撮影し、リサーチ、ビジュアルリサーチ、スケッチ、デザインアイディア、プロセス、生地サンプル、作品写真、デザイン展開などを編集して1冊のポートフォリオにまとめる。							
成績評価の方法							
・課題提出（ポートフォリオの内容） ・学習意欲						課題	60%
						学習意欲	40%
使用テキスト・教材							
スケッチブック□、絵具ほか画材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 授業説明、伝える内容を考える			2				
2. 作品写真撮影			8				
3. ポートフォリオの内容と材料を確認			4				
4. 内容の制作と編集 デザイン画、プロセスなど			4				
5. 内容を印刷して編集する			4				
6. 冊子にする			4				
7. プレゼン、まとめ			4				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。				CWデザイン、CW造形			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							